



HPで活動の様子を  
紹介しています。

# 若 鮎

## =子どもから教えられることも=

校長 岩片 和義

左は、近所の男の子(園児)が、妹が叱られて泣いているときに、叱っている親に対して言ったことを、私が書き留めたものです。

そう言われてみれば子どものころ、確かに泣いているときは泣くのをやめようと思っても、なかなかやめられなかったような気がします。大人は、だれもがそんな経験をしてきているはずなのに、子どものころのことを忘れていくことが多いのではないのでしょうか。忙しくてイライラしているときなどは、つい感情のままに心ない言葉を子どもに投げ掛けてしまいがちになります。反省、反省…。

「もうだまりなさい、うるさいでしょー!」

「あのね、ないているときはね、なくの やめるのが むずかしいんだよ。だまろうかなーとおもっても、すぐ なきたくなっちゃうの!」



下は、以前の勤務校で私が担当していた授業で4年生が書いた詩です。

桜

桜はなんで ももいろなんだらう  
桜はなんで 春に咲くのだらう  
桜はなんで 小さい花が咲くのだらう  
桜はなんで すぐに散ってしまうのだらう  
それは その木が桜という木だから  
ほかの花とはちがうから



えんぴつ と けしゴム  
べんきょうをいっばいすると  
えんぴつやけしゴムが小さくなる  
えんぴつが小さくなるのは  
いっばい字を書いたしように  
けしゴムが小さくなるのは  
いっばいまちがえたしように  
でも それは  
いっばい  
べんきょうしたしように



金子みすずさんの「みんなちがって みんないい」というフレーズを思い出しました。また「ナンバーワンにならなくてもいい。もともと特別なオンリーワン」や「どの花見ても きれいだな」にも通ずるものがあります。

地球上に1種類の花しか咲かなかったらどうでしょう。想像するだけで味気なくなります。違い(個性)があるから豊かで楽しくなるのだということを、改めて気付かせてくれた詩でした。

昔から「失敗は成功のもと」と言います。間違えた回数だけ、人は成長できるのだと思います。だからこそ、子どもが失敗したときに、大人がそれにどう言葉掛けするかが、とても大事になるのではないのでしょうか。

子どもは、大人が思っている以上に優れた感性で感じ、考えています。私たち大人は、時に子どもの感性から学ぶ心のゆとりをもちたいものです。



## 1月15日（月） 3・4年生 「嫁祝い」に参加しました

3・4年生が、西横山小正月行事「嫁祝い」に参加しました。「焼き草集め」では、ヌルデの太刀を持ち、集落の家々の玄関先で挨拶をして、ワラや豆柄などを集めました。そして「嫁祝い」では、ヌルデの太刀を花嫁の頭上で打ち鳴らしながら、元気よく祝い唄を歌い、花嫁を祝福しました。

焼き草集めを終えると、公民館に集まり、昭和31年の西横山小正月行事の映像を鑑賞しました。今とはちがう風景、生活の様子、人々の様子もちがいます。その中で当時の子どもたちも、生き生きと焼き草を集め、太刀を打ち鳴らしてお嫁さんを祝っていました。自分たちが体験した行事が、確かに伝統的な行事であるということを実感したひとときでした。

最後に、つきたてお餅を、みんなで美味しくいただきました(^▽^)/



## 1月26日（金） 1・2年生 雪遊び体験

26日（金）に、くわどり湯ったり村近くの森に入り、「冬の森探検・雪遊び」の活動を行いました。天候が心配されましたが、降雪もそんなにひどくならず、予定通り活動を進めることができました。

かみえちご山里ファン倶楽部の皆さんや地域ボランティアの方から、冬の森にはいろいろな動物の足跡があることを教えていただきました。また、山の斜面にソリのコースを作ってもらい、肥料袋を使って滑りました。その他にも、雪合戦、秘密基地作りなど、普段体験できない雪遊びを思う存分楽しむことができました。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。



## 民生・児童委員協議会から、図書のご寄付をいただきました

谷浜小学校を担当して下さっている民生・児童委員の皆様から、図書費のご寄付をいただき、子どもたちが喜びそうな本を複数購入させていただきました。大変ありがとうございました。

購入したばかりの新しい本は、それだけで魅力的です。ご寄付いただいた本も大人気で、既にそのほとんどが貸し出され、図書室には残っていないほどです。室内で過ごすことの多いこの時期、読書に親しみ、想像の世界、知識の世界を広げてほしいと願います。





## 2月2日（金） 3～6年生 スキー教室



2月2日（金）に、3年生以上の子どもたちが、キュービットバレイスキー場にて、スキー教室を行いました。

子どもたちは、4つのコース（5つの班）に分かれて活動しました。初心者・初級コースの子どもたちは、スキーの扱い方、斜面の上り方、板を八の字にした滑り方などを、インストラクターの皆さんに丁寧に教えていただきながら練習しました。最後にはリフトに乗り、スピードをコントロールしながら、慎重に斜面を滑り降りることもできました。中級・上級コースの子どもたちは、最初から4人乗りリフトに乗って中腹まで行くと、保護者ボランティアの皆さんと一緒に、自分たちのペースで何本も滑り降り、スピードを楽しみました。

充実したスキー教室は、保護者ボランティアの皆さんのご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

## 2月8日（木） トランペット鼓隊引継式

2月8日（木）に、トランペット鼓隊引継式がありました。6年生を中心とする令和5年度のメンバーは、これまで、より良い演奏を目指して、意見を出し合いながら練習を重ねてきました。最後の演奏は、その成果が発揮された、素晴らしいものでした。トランペットの高らかな音色が、体育館に響き渡り、谷浜小学校の誇れる伝統を感じるひとときとなりました。

6年生から4年生へと楽器が引き継がれ、指揮杖は5年生に移杖されました。新たにメンバーに加わる4年生の表情からは、「今度はぼくたちががんばる番だ!」という意欲が伝わりました。



## 2月8日（木） 短縄チャレンジ&大縄大会



2月8日（木）に、短縄チャレンジ&大縄大会を行いました。

短縄チャレンジでは、一人一人が、これまで体育の時間や休み時間に練習を重ねてきた成果を披露しました。

最初のチャレンジでは、学年ごとに1分間、得意な跳び方、好きな跳び方、上達した跳び方等で跳び続けました。続いては、1番長く跳び続けられるのは誰かを決めるチャレンジ。必死に跳び続ける姿に、見ているみんなから、「がんばれ!」と大きな声援が上がりました。

さあ、いよいよ大縄大会です。練習の成果を発揮しようとして、気合いが入ります。これまでピカピカ班ごとに練習を重ねてきましたが、どの班も初日とは比べ物にならないほど上達していました。「ハイ!ハイ!」と掛け声で気持ちを一つにしながらか跳びます。なんと、全ての班が、見事に新記録を出しました。

